

# シネマズライフ

2012年3月9日発行 第11号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

貴樹 諒音(たかぎ りおん)

## 映画の風景 日本の風景 ※ 鹿児島県屋久島・屋久杉 ※

ごには遠ま たしてあししの  
換一まがだ 鹿児島のいい中  
移回だ生都 感る。にもに  
を屋行き舎 のじのな日  
し久つてと するだに本  
た島たいは 人がか人が  
いに事る別 は、と見  
はきなだ界 少日があて  
思「いと のな中る自  
つ神がい自 なが事然な  
て様、う然 つ都はの  
い「一。の て舎わ中  
るに生私神 いたかに久



屋久杉  
屋久島には《縄文杉》という  
大御所杉があります。

行メるに いにそ 都  
動イ。住 あるたはこ 舎  
にとそむるは、守り 育  
興味とサの思。守り神の ち  
を持ツキは、森の大木が 座  
つ：トキは、その大木の して  
：トキの奇妙な 運

『となりのトトロ』 1988年日本 監督・脚本：宮崎駿 主演：日高のり子 坂本千夏 糸井重里 島本須美

同時公開が『火垂るの墓』で名作。が、「トトロ」は何度も見たいが「火垂るの墓」は二度は見たくないという人が多く明暗が別れた。

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！



### 『張り込み』

ザ・シネマ  
1987年 アメリカ  
制作・脚本：ジョン・パダム  
出演：リチャード・ドレイファス エミリオ・エステヴェス  
マデリン・ストウ フォレスト・ウィテカー

3月11日(日) 18:30  
3月14日(水) 25:30 → [3月15日(木) 01:30]

アメリカ・シアトル。刑事のクリスとビルは、魚市場で犯人を追い詰めるが取り逃がしてしまう。そんな二人の次の仕事は、脱獄犯・スティックの元恋人・マリアを24時間“張り込み”する事。

二人は夜間の担当で早速、任務についてみるとマリアはスタイルバツグンの美女。クリスは、彼女の部屋に盗聴器を仕掛けたりとマリアと接触するうちに彼女にひとめぼれしてしまう。マリアも、度々出会うクリスに興味を持ちついにふたりは恋人関係に。

そして、マリアの前にスティックが現れるが…。

日本では、松本清張の『張り込み』も有名だが、アメリカの張り込みってこんなに気楽でいいの？って映画です。

前号で紹介した『おつむてんクリニック』で紹介したリチャード・ドレイファスが、今回は惚れっぽい刑事を演じています。

### 『アデル／ファラオと復活の秘薬』

ムービープラス  
2010年 フランス  
監督・脚本：リュック・ベッソン  
出演：ルイーズ・ブルゴワン マチュー・アマルリック  
ジャッキー・ネルセシアン

3月15日(木) 27:30 → [3月16日(金) 03:30]  
3月24日(日) 09:30 3月26日(火) 13:30

20世紀初頭・冒険家のアデルは、急いでエジプトに向かっていた。というのも、事故で半身不随となって寝込んでいる妹・アガトを救うのはラムセス2世の所持する“復活の秘薬”を処方するしかないと思ったからだ。

一方、パリでは大きな怪鳥が各地に現れ、人々を驚かしていた。鳥の正体はジュラ紀の翼竜プテロダクティルス。1億3500万年前の卵が孵化し、パリの空を飛んでいたのだ！孵化させたのは蘇生術を研究しているエスペランデュー教授。しかし、彼は犯人として死刑宣告をされてしまう。

さて、アデルはエジプトでラムセス2世の主治医のミイラ？を伴ってパリへ帰国。エスペランデュー教授を探すが、彼はギロン台の露となりかけていた…。

万年少年・リュック・ベッソンの快作。アデル演じるルイーズ・ブルゴワンの語るキュートがなフランス語はカッコいいですね。

☆ ネットでも読めるミニコミ誌です！主に映画の紹介とコラムです。よろしかったら、コメントで感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願ひします！

貴樹 諒音

☆ 最近のこれはお見事！は、見事な映画の題名の紹介します反して、このこれは、まずいぞ！と思っ映画の題名を紹介しします。

【最近のこれはまずいぞ!】『どんずまり便器』

監督の《トラウマサーカスの真骨頂》らしいが、一目見て気持ちのいい題名ではないですね。

ナレーション：佐藤康

# 「東京裁判」

1988年日本  
監督 岡本 山崎正樹

一九四六年五月三日。東京で第二次世界大戦の犯罪者を裁くため、極東国際軍事裁判が開廷された。被告は軍人・政治家に民間人を含め二十八名のA級戦犯連である。

A級戦犯とは、国際軍事裁判所条例及



リンカーンが《ゲティスバーグ演説》を行ったのは1863年7月の事だった。

び極東国際軍事裁判条例のA項に記載された罪で主に「平和ニ対スル罪」。ちなみにB・C級戦犯とは「通例の戦争犯罪」C項は「人道に対する罪」である。また日本はC級戦犯は少なかったと

いう。さて、審理が進む中、この裁判の矛盾が露呈する事になり、極めつけはインド代表判事パールが裁判の違法性を指摘した事で、裁判の無効を訴えた。東京裁判の主導権を握ったのはアメリカ。ちなみに、アメリカは日本への原

爆投下と都市の無差別爆撃の裁きはうけていない。

アメリカ大統領リンカーンは人々の前で人間の平等を謳った《ゲティスバーグ演説》を行ったが、世界の人々には当てはまらないとは、決して言わないだろう。

コラム  
やるべき人がやることをやらないと……



洋上から見た福島第一原発  
のくに、ヘリコプターで見学……いや、視察をし、記者会見で官房長官が「個人の心情を話したり、東京電力は《根拠なき安全神話》に未だに固執し、被害者の方々に保障もできていない。総理大臣はあの時期には、総理官邸にいて情報を収集して、自ら語るべきは語り、専門家に任せて判断をさせる事ではないのだろうか? 官房長官は、しっかり総理のやるべき事を提言すべきではなかったか? また、東京電力は、《想定外の想定外》を想定しておくのがやるべきことだったのだろう。鳩山前総理は沖縄の普天間基地移設問題の発言で国際問題まで発展した。しかし、未だに問題が解決していない今・とりあえず鳩山前総理は、沖縄の方々の前で土下座すべきだろう。もう、誰もが言っている事だが書いてしまった。それがこの問題の罪深さなんだと思う。

三月十一日は、日本人にとつても忘れられない日になった。大地震に続き、《想定外》という言葉でなにもかも片づけられそうになっていく福島第一原子力発電所事故。この発電所の《古い》《高潮、津波》などの危険性は以前から言われていたが、事故が起きた時正直「プロの東電」が処理に当たっているのだから大丈夫とは思っていたのも迂闊だった。確かに地震はともかく、原発事故の後処理の酷さは、前代未聞だろう。総合的に物事を決定しなければならぬ総理が、行ってはどうしようもな

※編集後記※  
☆『ゴーストライター』ホテルが面白そう。作家志望の男が切羽詰まって、有名作家達が創作活動をしたというホテルへ行き小説書きに挑むが……話。面白そうだが、作家達がお笑い芸人つてのが気になる。  
☆三月七日から九日まで厄日だった。それまで調子のよかったBDが突然機能不全に陥り中のHDの録画したものがすべておじやんになり、トイレの床から水が染みだし、花粉症で頭痛がひどくなり、脱力感が出てフラフラ……九日の午後にはやっとなんか……B DはHDの中身と共におさらばし、頭痛は普通の花粉症に戻った。不思議な事に占いによるとその7日から9日の午後まで今年前半最大の厄日だったそう……面白いですね。



湯立神事

【最近のこれはお見事!】『空から赤いバラ』

往年のセクシー女優・ラクウエル・ウエルチをご觀賞する為の映画だという事がよくわかる映画。『赤いバラ』とは、バラシユートにぶら下がったラクウエル・ウエルチの事。すべては彼女を引き立てる為の小道具。最近の魅力的な女優がいなくなつたせいでしょうかという映画はないですね。寂しいといえは寂しい……

